

リコール技術検証の現状と今後の取組

～リコール制度のための取り組み～

リコール技術検証部長
大森 隆弘

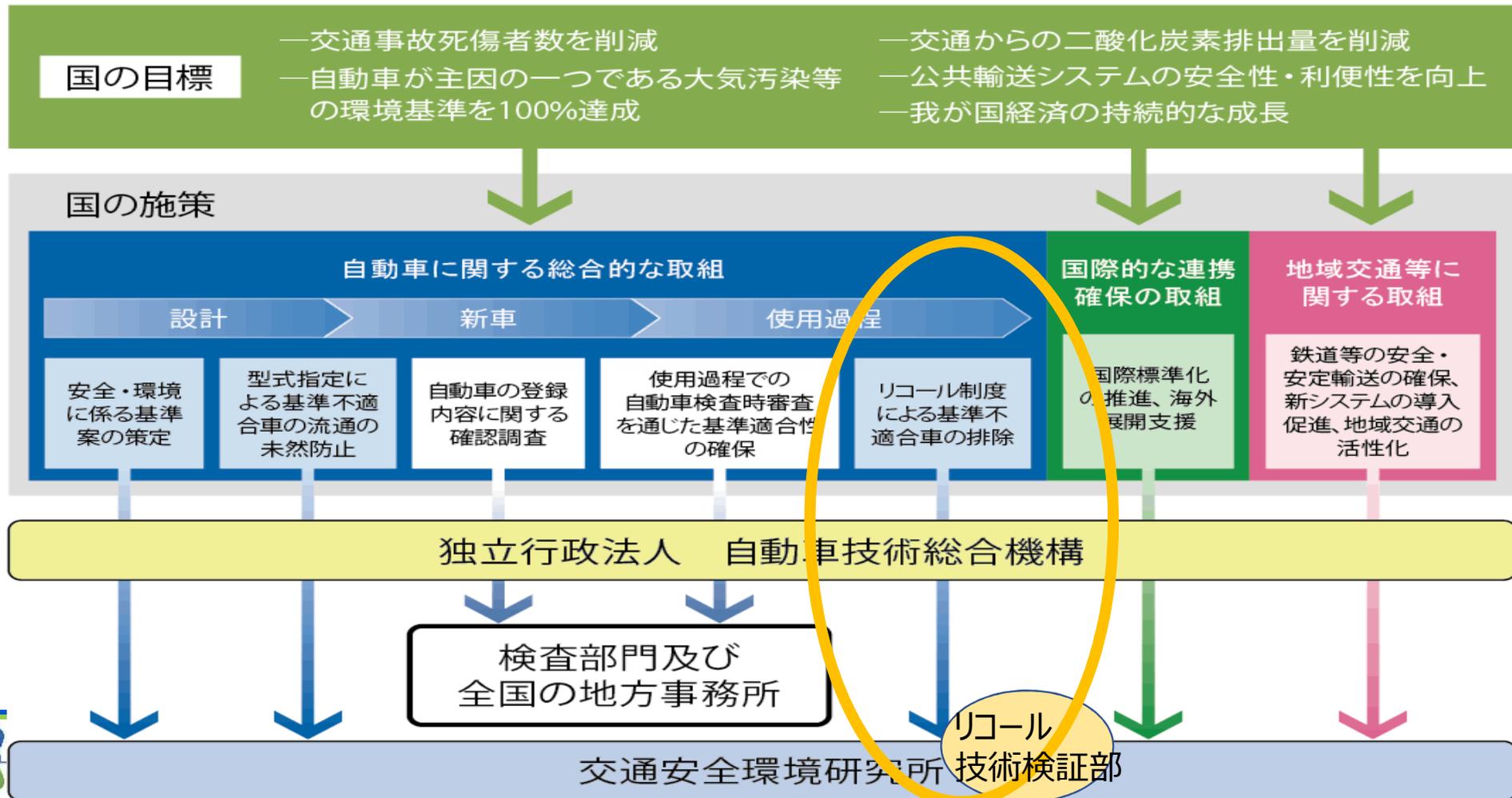
本日のプレゼンテーションの内容

1. 自動車に関するリコール制度の概要
2. リコール技術検証部の役割
3. リコール技術検証部の取り組み状況

1. 自動車に関するリコール制度の概要(リコール制度の位置付け)

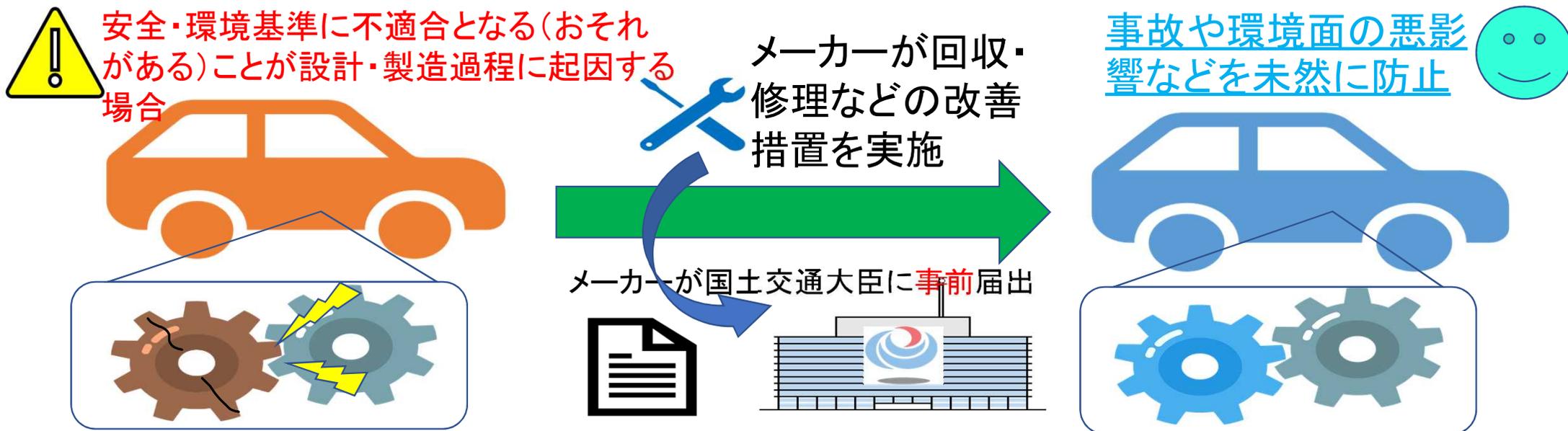
交通研HPから抜粋

国の目標・施策に対する自動車技術総合機構と交通安全環境研究所の位置づけ



1. 自動車に関するリコール制度の概要(リコールとは)

自動車に関するリコールとは、設計・製造過程に問題があったために安全・環境基準に適合していない(適合しなくなるおそれがある)自動車等について、自動車メーカー等が自らの判断により、国土交通大臣に事前届出を行った上で回収・修理などの改善措置を行うことにより、事故や環境面の悪影響などを未然に防止するもの。



1. 自動車に関するリコール制度の概要(国の役割)

国交省HPから抜粋

リコール制度について

リコール制度の趣旨

設計・製造の過程に問題があったために安全・環境基準に適合していない(又は適合しなくなるおそれがある)自動車について、自動車メーカーが自らの判断により、国土交通大臣に事前に届出を行い、対象車を回収し、無償で修理を行い、事故・トラブルを未然に防止する制度。

メーカーによる取り組みが適切に行われるようにするため法令に基づき国が関与

国土交通省の役割

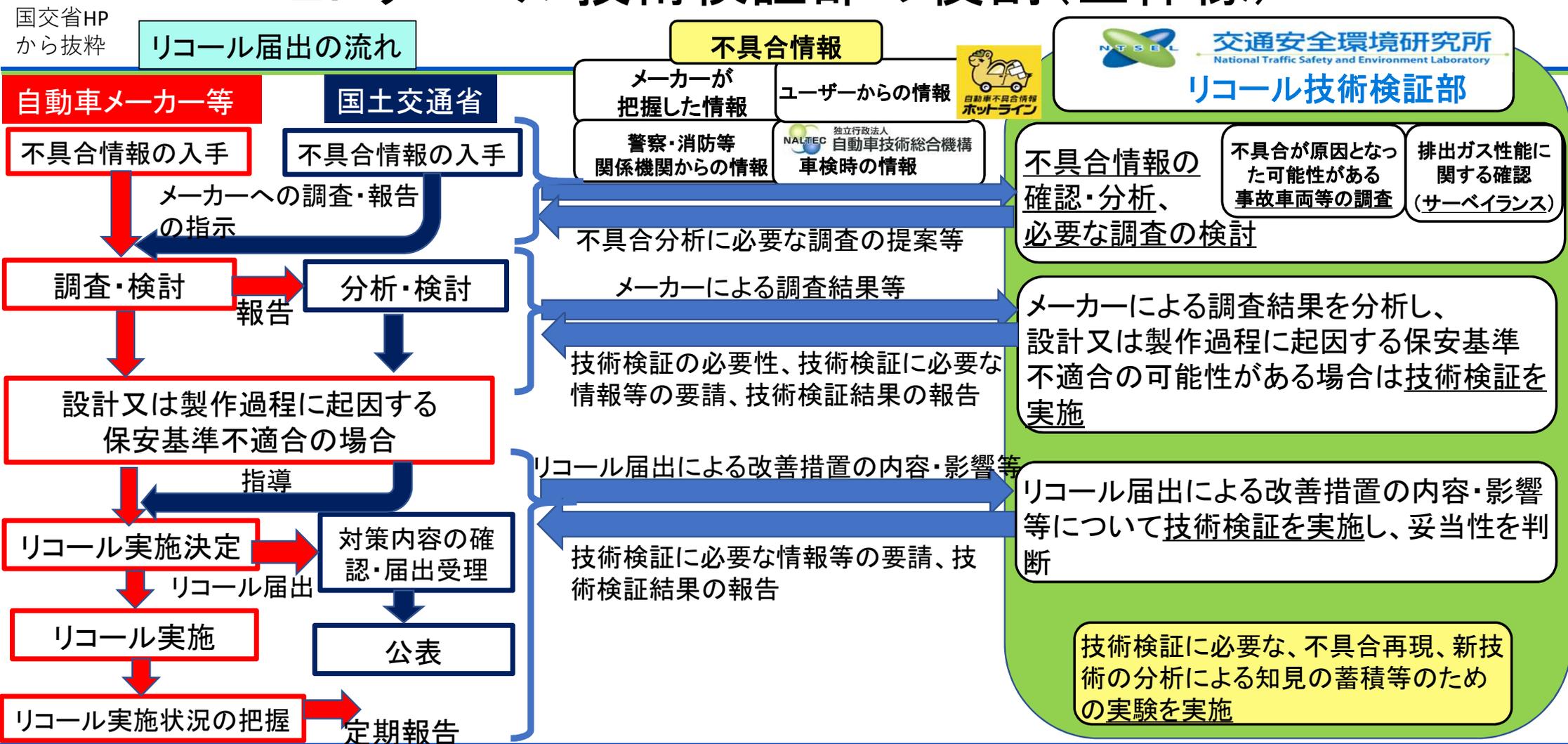
- ① 不具合情報の収集・分析。
- ② メーカーのリコールへの取組状況の調査。
- ③ 取組状況が不適切であれば指導又は監査等。
- ④ 事前届出内容が不適切であれば改善指示。
- ⑤ メーカーが自主的にリコールを行わず、かつ、事故が頻発している場合には勧告・命令。

リコールの勧告、命令



※ 虚偽報告、リコールの届出義務違反、リコール命令に従わない場合には、罰則(懲役1年以下、罰金300万円以下、法人罰金2億円以下)が科せられる。

2. リコール技術検証部の役割(全体像)



2. リコール技術検証部の役割(不具合情報分析体制の強化①)

➤ ユーザー、メーカー、警察、消防等の関係機関などからの不具合情報に加え、以下の情報を活用している。

1. 登録車の検査情報の活用(H29年度～)

(独)自動車技術総合機構 検査部門

検査時に設計・製作に起因する疑いのある不具合情報を抽出しシステム入力



2. 軽自動車の検査情報の活用(H30年度～)

軽自動車検査協会

検査時の不適合情報

3. 定期点検記録簿情報(H30年度～)

国土交通省 運輸支局等

定期点検整備記録簿

点検整備記録簿を
スキャナー取り込み



4. 諸外国との連携(H30年度～)

ドイツ:KBA

・ドイツ市場での不具合の
発生状況とメーカー対応
についての情報共有

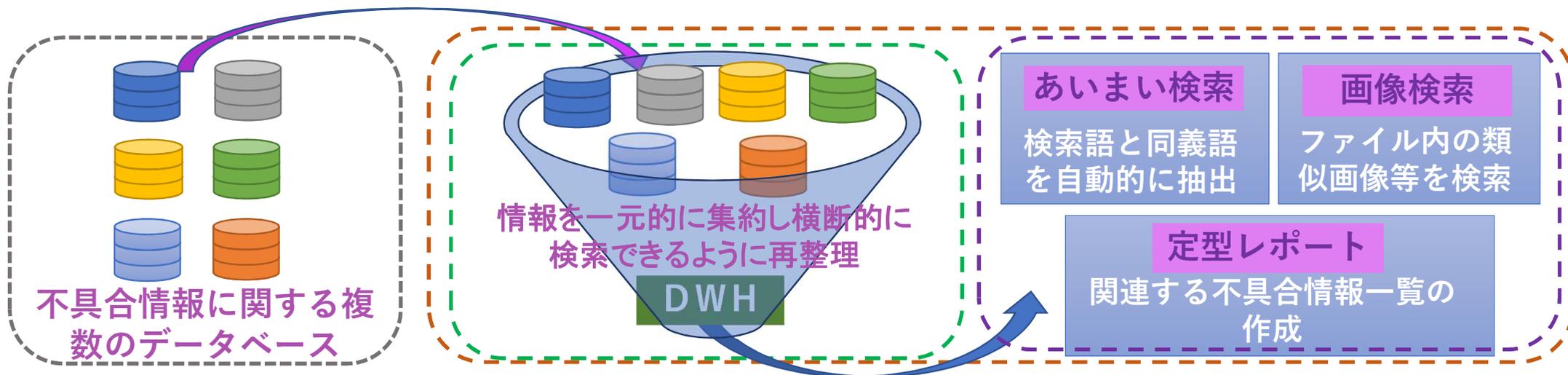


2. リコール技術検証部の役割(不具合情報分析体制の強化②)

➤安全・環境性能に疑義のある自動車をさらに迅速かつ確実に把握できるようにするため、検査結果を管理しているシステムの情報やリコール検証のために保有している不具合情報を、横断的に集計・分析できるシステムを今年度構築し、充実させていくことを予定

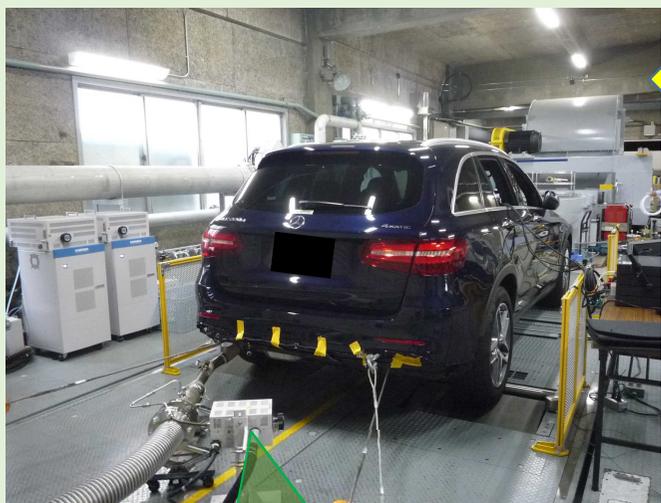
◆システム概要

複数のデータベース情報をデータ倉庫(DWH)に一元的に集約し、その中から特徴を持つデータを横断的に検索できるように再整理した上で、専門的な同義語や関連語を検索・管理する分析ツール等を活用することで、リコールにつながる可能性のある情報の検索・分析をより迅速かつ効果的に行うもの



2. リコール技術検証部の役割(サーベイランス)

- 市販の車両を購入して排出ガスの測定を実施することにより、認証試験時に排出ガス低減装置を働かせ、実際の路上走行時には働かせないようにする不正ソフトの有無などを確認



据え置き型

測定結果の乖離の分析



PEMS
Portable Emissions Measurement System

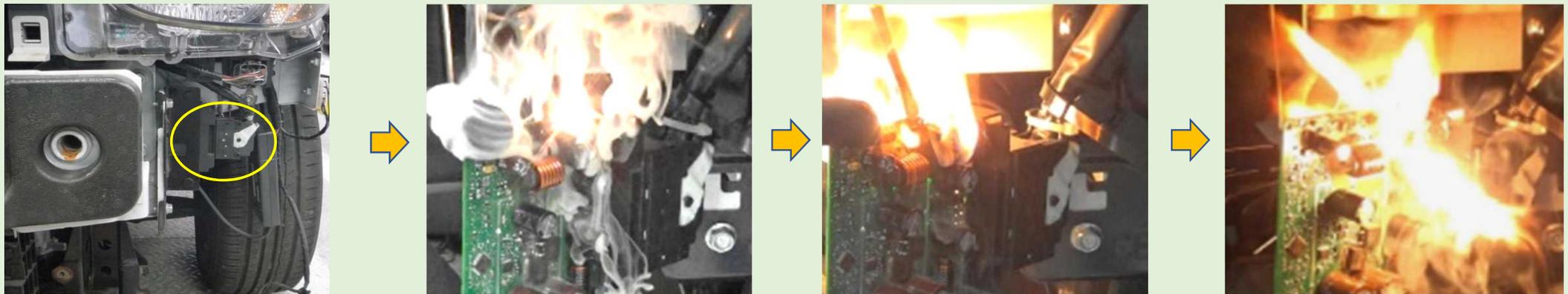
車載式排出ガス分析装置

2. リコール技術検証部の役割(実験の実施①)

①不具合発生メカニズム等に関する知見を高めるための実験の実施

- 車両火災については構造装置が焼損してしまうことから発生原因を特定しにくいことが多いため、車両火災を伴う不具合の技術検証の知見を高めるための実験を実施している。

乗用車の電気装置に通電した場合の車両火災に係る基礎実験



2. リコール技術検証部の役割(実験の実施②)

②新技術に関する知見を高めるための実験の実施

- 運転支援システムについて様々な実験を実施することにより、自動運転技術に対する技術検証業務の質の向上・効率化を図るべく知見を蓄積している。

ハンズオフ機能に関する確認実験



LKAS(車線維持支援装置)機能等に関する実験



3. リコール技術検証部の取り組み状況

・不具合情報分析件数の推移

情報提供元	令和元年度	令和2年度
ユーザーからの不具合情報	3,458	3,811
メーカーからの事故・火災情報及び不具合情報	4,787	4,504
その他(警察、消防、消費者庁等)	702	552
計	8,947	8,867

3. リコール技術検証部の取り組み状況

・不具合が原因となった可能性がある事故・火災車両の調査件数の推移

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
事 故	21	15	20	15	10
火 災	44	54	56	48	43
合 計	65	69	76	63	53

3. リコール技術検証部の取り組み状況

・技術検証の実績

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
技術検証開始事案件数	85	133	200	132	92
技術検証終了事案件数	112	96	97	141	107
市場措置に繋がった検証事案件数	24	19	12	19	22

3. リコール技術検証部の取り組み状況

・技術検証のための実験のテーマ数の推移

年 度		H28	H29	H30	R1	R2
実験テーマ総数		10	13	10	10	10
内 訳	個別事案の検証	3	1	3	3	2
	知見の蓄積	7	12	7	7	8
	うち、火災関係	3	4	3	4	1
	うち、ASV関係	0	9	4	5	5

まとめ

- リコール技術検証部は、法令に基づくリコール制度を支える役割。
- 具体的には、国土交通省からの依頼を受けて、
 - 様々な不具合情報の分析
 - 技術検証等を着実に実施することにより、リコール等の実施に寄与。
- 不具合情報の分析においては、安全・環境性能に疑義のある自動車をさらに迅速かつ確実に把握できるようにするため、様々な不具合情報を横断的に集計・分析できるシステムを今年度構築し、充実させていくことを予定。
- サーベイランス業務を着実に実施することにより、排出ガスシステムの妥当性を確認。
- 新技術等に関する技術検証のための実験等を着実に実施することにより、知見の蓄積等を推進。

ご清聴ありがとうございました。